

表1 会計別予算一覧

(単位:千円・%)

区分	本年度予算額	前年度予算額	比	較
一般会計	41,055,000	41,911,299	856,299	2.0
国民健康保険特別会計	13,588,779	12,570,147	1,018,632	8.1
老人保健特別会計	9,677,259	10,072,401	395,142	3.9
農業集落排水事業特別会計	1,475,095	2,166,245	691,150	31.9
国済寺土地区画整理事業特別会計	658,612	643,032	15,580	2.4
岡中央土地区画整理事業特別会計	212,975	279,071	66,096	23.7
武川中央土地区画整理事業特別会計	13,878	28,979	15,101	52.1
小前田駅北西部土地区画整理事業特別会計	150,667	315,303	164,636	52.2
浄化槽市町村整備推進事業特別会計	-	25,748	25,748	皆減
公共下水道事業特別会計	1,139,974	1,066,942	73,032	6.8
小計	26,917,239	27,167,868	250,629	0.9
企業会計				
下水道事業会計	3,315,996	3,953,041	637,045	16.1
水道事業会計	4,242,756	4,754,880	512,124	10.8
小計	7,558,752	8,707,921	1,149,169	13.2
合計	75,530,991	77,787,088	2,256,097	2.9

一般会計
市の会計の中心で、市の基本的な経費をまかなう会計です

特別会計
特定の資金で、一般会計と区別して事業を行う会計です

企業会計
民間企業のように、その事業だけで独立採算を図る会計です

はマイナスを表します前年度予算額は、当初予算が骨格的予算であったため、6月補正後の数値を使用しています

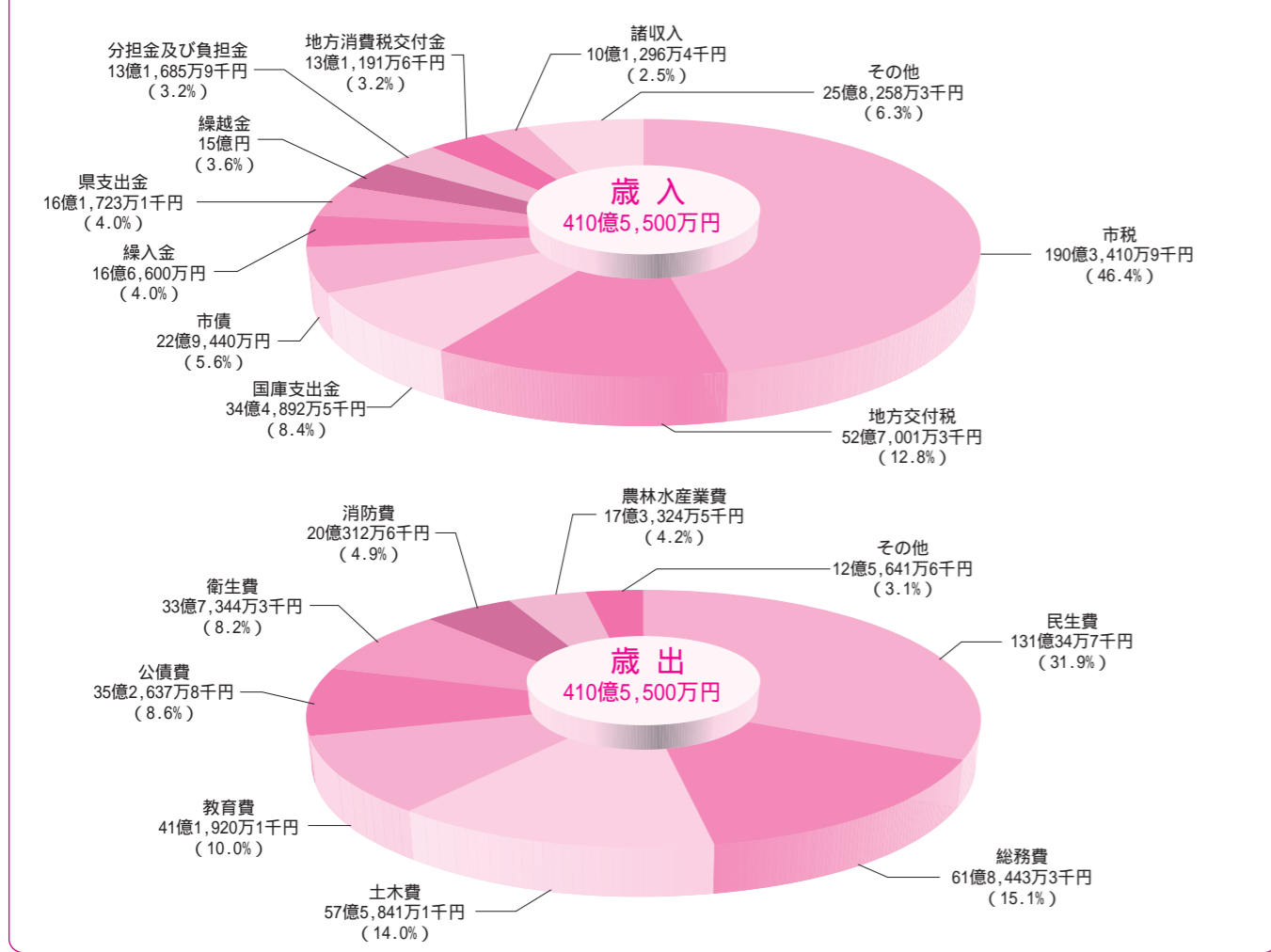
歳入において、市の根幹をなす市税は、190億3,410万9千円、歳出については、「主な事業予算」(4.5ページ)をご覧ください。



特集 平成19年度当初予算概要

総額 755億3,099万1千円 (前年度比2.9%減)

深谷市一般会計予算 歳入・歳出の内訳



一般会計
410億5,500万円
(前年度比2.0%減)

特別会計
269億1,723万9千円
(前年度比0.9%減)

企業会計
75億5,875万2千円
(前年度比13.2%減)

平成19年度当初予算は、市民サービスの維持・確保を図りながら、深谷市が自主自立し持続的に発展できる基盤づくりを進めるため、新市建設計画に掲げた施策の着実な実施を基本に編成しました。

その結果、平成19年度の当初予算の総額は、755億3,099万1千円(前年度比2.9%減)となりました。

内訳は、次の通りです。

平成19年度施政方針 - すべての市民の幸福のため夢を持ってまちづくりを -



深谷市長 新井 家光

新深谷市が誕生し、2年目の春を迎えました。この間、市民皆様の温かいご理解とご協力により、順調な市政運営を行うことができましたことに深く感謝を申し上げます。

平成19年度は、平成18年度の実績を踏まえ、新市として築き始めた基盤をさらに強固なものとし、未来へと発展させていく極めて重要な年であると考えております。

このような中、現在、市政運営の根幹となる、総合振興計画の策定作業を進めております。総合振興計画は、本市における最上位計画として、本年12月の議会上程を目標に作業を進めてまいります。

また、「深谷市行財政改革大綱」に基づき、行財政改革を強力に進めてまいります。



現在の地方公共団体を取り巻く社会・経済情勢などは、大変厳しい状況ですが、このような時こそ、すべての深谷市民の幸福のため、私は夢を持って、市政運営に全力で取り組み、力強く前進してまいりますと考えております。

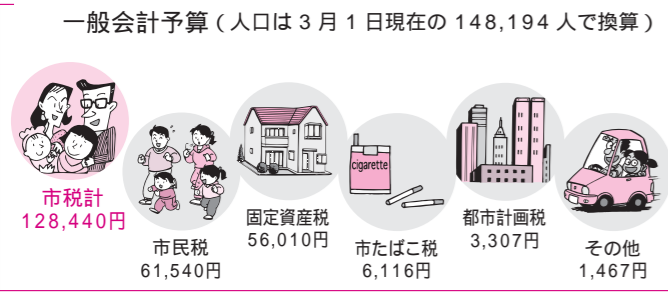
市民皆様には、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「深谷市行財政改革大綱」に基づき、行財政改革を強力に進めてまいります。行政だけでなく、市民皆様のご理解が必要でありますので、ご協力をよりよくお願いいたします。

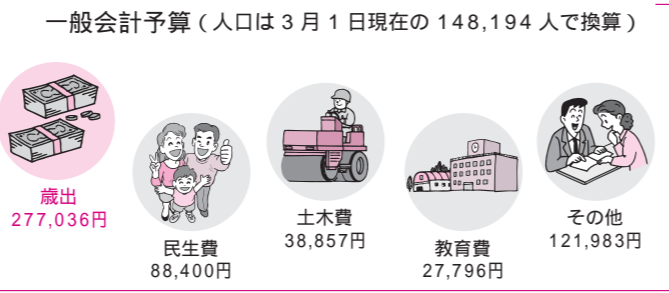
さらに、市民皆様のご理解とご協力を頂きながら、教育と福祉が創造的に連携した、人づくりとしての「深谷モデル」を確立していきたいと考えております。

その一つとして、教育研究所を中心とした「深谷ブランド」の教育について研究してまいります。

市民の皆さん 1人当たりが負担する税金



市民の皆さん 1人当たりに使われるお金



平成19年度の主な事業と予算を紹介します

「新市建設計画」の7つの基本方針から、平成19年度の歳出の主要事業についてご紹介します。

豊かな自然と快適な生活環境の創造

- 地球温暖化対策事業 1,797 万円
地球温暖化対策の一環として、家庭用太陽光発電システムの設置費に対して補助金を交付します。
- ごみ収集委託事業 4 億 2,844 万円
全市的にごみの収集方式の統一を図ります。
- 通学路安全対策事業 1,633 万円
「第8次交通安全計画」に基づき、通学路における交通安全施設の重点整備を進めます。
- 青淵公園整備事業 1 億 1,000 万円
植栽、給排水、園路広場などの整備工事を行います。

安心して暮らせる福祉のまちの創造

- 障害者支援事業 8 億 8,934 万円
成年後見制度の利用支援や、障害者の施設訓練・居宅生活の支援を行います。
- こども医療費支給事業 2 億 7,537 万円
通院・入院にかかる医療費の給付を、小学校6年生まで行います。
- 後期高齢者医療事業 3,826 万円
平成20年4月から開始となる75歳以上のかたを対象とする新医療制度に向けた準備経費です。
- 健康なまちづくり推進事業 720 万円
市民公開講座、市民健康大学の開催による健康増進の普及促進のほか、笑い与健康をテーマとした講演会を開催します。

次代を担う人と文化を育むまちの創造

- 大学設置補助事業 6 億 8,500 万円
平成20年4月に開校予定の(仮称)東都医療大学建設に対する補助金です。
- 国際化教育推進費 5,589 万円
小・中学校への英語指導助手の配置により、充実した英語指導ができる環境づくりを進めます。
- 少人数指導事業 2,969 万円
各小学校へ学習支援員を配置し、きめ細かな学習支援を行います。

便利で住みよい魅力ある都市の創造

- 市内循環バス運行事業 3,250 万円
新市における循環バスの再編について検討します。それまでの間は、現行の形態を基本に運行します。
- 電線類地中化事業(単独・補助) 2 億 7,300 万円
駅前都市景観や防災機能の向上のため、市道の電線類地中化を行います。
- 老朽管更新事業 5 億 7,657 万円
安全で安心な水道水の供給維持のため、引き続き石綿セメント管の更新を行います。

活力とにぎわいあふれる産業の創造

- 特産物PR事業 458 万円
農作物のブランド化に向けたPRや煮ぼうとう食材としての活用促進を行います。加えて、ジャパンフラワーフェスティバルさいたま2007で花卉のPRを行います。
- 基盤整備促進事業 6,441 万円
平成17年度から3か年事業として、櫛挽北東部地区の排水路整備を進めています(本年度事業完了予定)。
- 深谷のまつり補助事業 2,756 万円
深谷まつり、七夕まつり、コスモス祭、重忠まつりなどに対する補助金です。

参画と交流による市民が主役のまちの創造

- 中学生海外派遣事業 393 万円
市内の中学校生徒を、アメリカ・フリーモント市へ派遣します。
- ガーデンシティ推進事業 2,300 万円
「第4回ふかや花フェスタ」の開催やガーデニングの普及啓発により、市民参加のまちづくりによる美しい街並みの実現と、花の産地深谷のイメージアップを図ります。



公正・公平で開かれた行財政運営の推進

- 総合振興計画関係費 964 万円
総合振興計画および国土利用計画の策定を行います。
- 住環境ユニバーサルデザイン化促進事業 3,104 万円
子どもや高齢者、障害者など、誰もが安心して快適な暮らしが送れるよう住まいのユニバーサルデザイン化に対して、助成金を交付します。

